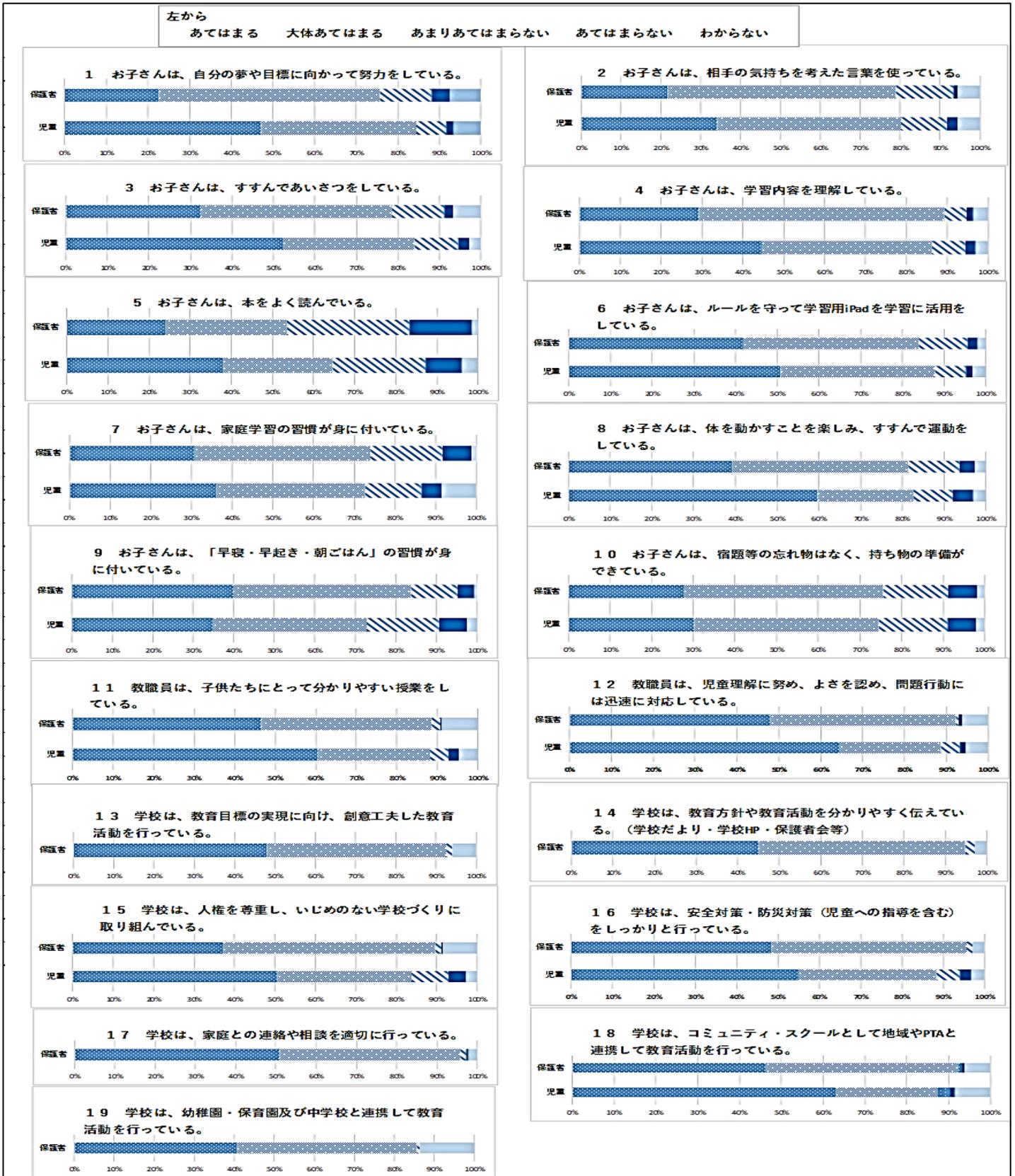




令和8年2月16日  
 学校評価特別号  
 No.486  
 発行責任者  
 校長 西村 学徳

## 学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様に御協力をお願いいたしました「学校評価アンケート」の結果がまとまりました。今回の回収率は、65%（昨年度比-1%）でした。保護者の皆様よりいただいた貴重な御意見を、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思っております。



項目	集計結果に対する学校の見解 ※( )の中は前年度比です。
1	肯定的回答は、保護者が76%(+30%)、児童が85%(+10%)となりました。あらゆる教育活動で「目標設定と振り返り」を大切に指導してきました。今後も「キャリア・パスポート」等を活用し、夢や目標を立て、その実現に向かって努力することの大切さを児童に伝え、自己のキャリア形成の素地を育む指導に取り組んでいきます。
2	肯定的回答は、保護者が79%(+25%)、児童が80%(+10%)となりました。「ふっさっ子スタダート」の「ていねいな言葉で話そう」について、継続的に指導し、実践に取り組みました。縦割り班活動等で上級生が下級生に優しい言葉で接している場面も見られました。今後も、児童が温かく丁寧な言葉遣いができるよう指導していきます。
3	肯定的回答は、保護者が79%(+27%)、児童が84%(+10%)となりました。計画・代表委員会による「挨拶運動」では、ボランティアとして自主的に参加する児童が増えたり、中学生と合同で取り組んだりしました。児童にも定期的に自己の挨拶の状況を振り返らせ、意識化を図っています。次年度も、挨拶の定着に向けて指導していきます。
4	肯定的回答は、保護者が89%(+31%)、児童が86%(+10%)となりました。中学年以上で実施している教科担任制により授業が充実しているとの声が児童・保護者から多く寄せられています。引き続き、教科担任制のメリットを十分に生かしながら、基礎学力の定着に向けて学習指導を工夫していきます。
5	肯定的回答は、保護者が54%(+8%)、児童が65%(+5%)となりました。学校図書館での貸し出し冊数は昨年度に比べて約1000冊増加し、児童が本に触れる機会が確実に増えてきています。今後も児童が本に親しめる環境づくり及び朝学習での「10分間読書」や家庭学習での「5分読書」等により、読書習慣の定着を図っていきます。
6	肯定的回答は、保護者が84%(+27%)、児童が88%(+10%)となりました。市から貸与の学習用iPadについては、「二小の学習用iPadの使い方」を学校で定め、使い方や情報モラルについて児童に指導を続けています。1月に端末が新しくなりましたが、端末内保存データの確認等を定期的に行い、適切に使用できるよう指導していきます。
7	肯定的回答は、保護者が74%(+21%)、児童が73%(+9%)となりました。家庭学習の定着については、全体として取組状況に二極化が見られています。年度当初に配付しました「家庭学習の手引き」に基づき家庭学習の習慣の定着を図ることができるよう、魅力ある出題内容や提出の確認方法について吟味し、改善に取り組んでいきます。
8	肯定的回答は、保護者が82%(+26%)、児童が83%(+6%)となりました。体育学習の充実に加え、なわとび旬間や持久走旬間等、全校で体力づくりに取り組む機会も設定してきました。多くの児童が運動する楽しさを実感できたようです。次年度は、意図的な体力づくりの取組に加え、休み時間の外遊びの励行も併せて指導していきます。
9	肯定的回答は、保護者が84%(+28%)、児童が73%(+8%)となりました。週1回、登校時に栄養教諭による食に関する紹介により、食への関心を高めている様子が見られました。安心・安全な学校生活の基盤となる「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性については、保健指導等で児童に改めて指導し、家庭と連携しながら改善を図っていきます。
10	肯定的回答は、保護者が76%(+25%)、児童が75%(+6%)となりました。学習用具の忘れ物により、学習活動への意欲が低下してしまう児童が一部見られています。児童の学びを止めないために、貸し出し用学習用具を準備するとともに、児童に忘れ物をさせないための指導をしていきます。御家庭への連携・協力もお願いしていきます。
11	肯定的回答は、保護者が89%(+30%)、児童が88%(+9%)となりました。項目4と同様に教科担任制による効果と考えられます。引き続き、教科担任制の充実により、児童の実態を踏まえた児童にとって分かりやすい授業を行い、確かな学力を身に付けさせていきます。また、学び続ける教師集団を目指し、教員の研修も積極的に実施します。
12	肯定的回答は、保護者が92%(+36%)、児童が88%(+8%)となりました。副担任制・教科担任制等により、多くの教員が学級の枠を越えて児童に関わり、児童を「褒める」「認める」「励ます」指導を心掛けています。問題行動等についても、学年内及び副担任間で迅速に報告・連絡・相談を行い、複数の教員で組織的に指導・対応をしています。
13	肯定的回答は、保護者が93%(+36%)となりました。「本物と関わる体験的学習」を特に重視しながら、地域や諸機関と協働して教育活動を推進してきました。また、各学年で外部の専門家や講師とした新たな教育活動の開発に取り組んできました。学校支援地域組織(くまっこ応援団)との連携を強化し、本物体験の更なる充実に努めていきます。
14	肯定的回答は、保護者が95%(+33%)となりました。学校便りや保護者会等で、本校の教育方針についてお伝えしてきましたが、良い評価をいただき、ありがたく思います。5月より学校便りと学年便りを一本化し、保護者の方が全学年の様子を把握できるようにしたことも、概ね高評価をいただきました。今後も積極的に情報発信していきます。
15	肯定的回答は、保護者が90%(+34%)、児童が84%(+10%)となりました。各学期初めに「いじめ防止」に関する授業を全学級で行い、日々の児童の様子や年3回の「いじめ等に関するアンケート調査」から、軽微ないじめも見逃さない指導に努めてきました。今後も「いじめを絶対に許さない」という理念に基づき、児童へ指導していきます。
16	肯定的回答は、保護者が96%(+33%)、児童が88%(+7%)となりました。毎月の避難訓練や安全指導を通して生活安全・交通安全・災害安全について指導し、「危険を回避し自己の安全を守ることができる能力」の育成を図ってきました。今後は、「他者や社会の安全に貢献できる資質能力」の育成に向けた指導の充実を図っていきます。
17	肯定的回答は、保護者が96%(+35%)となりました。御家庭への連絡や相談は、迅速かつ適切に、必要に応じて組織的に行い、御家庭と連携して児童へのより良い指導・支援ができるように心掛けています。御心配なことや御質問がありましたら、いつでも学校へ御連絡ください。併せてスクールカウンセラーとの面談もぜひ御活用ください。
18	肯定的回答は、保護者が92%(+37%)、児童が88%(+10%)となりました。地域学習や各行事等、様々な場面において、PTAの皆様並びに学校支援地域組織「くまっこ応援団」の皆様にお力添えをいただくことができ、教育活動をより充実させていくことができました。次年度も、引き続きお力添えいただけますと大変ありがたいです。
19	肯定的回答は、保護者が86%(+38%)となりました。今年度は、新たに運動会での未就学児の種目を実施しました。毎年の就学時健康診断時の5年生全員による運営補助も、園児と関わる良い機会となっています。中学校とは、今年度、新たに6年生の一中部活動見学を行いました。次年度も、幼保小及び小中の連携を一層強化していきます。

◎令和7年度学校評価 保護者の皆様からいただいたご意見(要約)と学校としての見解<一部抜粋>

項目	いただいた御意見	学校としての見解
学習	<p>○とても楽しそうに授業を受けている姿を見て安心している。</p> <p>○子供の実態に応じた丁寧な指導をしてくれている。</p> <p>○子供たちの姿を通して、「感動体験、安心・安全」をしっかりと感じている。</p> <p>○宿題の量が少ないように感じる。また、その日の出題内容について家庭で確認できる方法があるとよい。</p>	<p>→個の状況に応じた丁寧な学習指導を心掛けるとともに、教科担任制や算数の習熟度別指導等の充実を今後も図っていきます。</p> <p>→次年度も引き続き学校経営の柱として取り組んでいきます</p> <p>→「家庭学習の手引き」に沿って、宿題は「学年×10分」で取り組む分量を基本に、適切に取り組ませていきます。宿題内容は連絡帳等にかかせたり、Teamsで配信したりして保護者の方も確認できるようにしていきます。</p>
生活	<p>○トラブルや相談したいことがあった際に、すぐに対応してくれて安心した。</p> <p>○学年が上がるにつれて、友人関係のいざこざや、SNSでのトラブルが増えてくるように感じる。</p> <p>○登下校時の歩き方やゴミのポイ捨て、市のチャイムによる帰宅等に関して子供たちに考えさせる指導をしてほしい。</p> <p>○給食時のランチョンマットは、お盆もあり、衛生的にも問題なく、不要だと感じる。</p>	<p>→児童に関するトラブルやその指導については、状況や必要に応じて、迅速に御家庭に連絡し、情報を共有できるようにしていきます。</p> <p>→情報モラルや人権教育を重視して、児童が人とより良い関係を築けるように指導していきます。また、教員が児童にとって相談できる存在となるように信頼関係の構築に努めるとともに、その他に相談できる機関を随時、児童に情報提供していきます。</p> <p>→登下校のルールやマナー、学校外での安全な過ごし方等、全校や各学年・学級等、状況に応じて適宜指導をしていきます。</p> <p>→机拭き等で給食時の衛生管理を十分に行うため、次年度より、ランチョンマットの使用は必須とせず、希望者のみとします。</p>
挨拶・交流	<p>○道で知っている子とすれ違うとよく挨拶をしてくれる。</p> <p>○休み時間に高学年の児童と遊んで楽しかったと話している。縦割り班活動等の成果だと感じる。</p> <p>○移動教室等の際に他学年から「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」のメッセージが書かれた垂れ幕やてるてる坊主のプレゼントがあることは素敵な取組だと感じる。</p>	<p>→挨拶することの意義や大切さ、心地よさを引き続き指導し、挨拶できる児童の育成に努めていきます。</p> <p>→縦割り班活動や集会等の異学年交流活動は本校の特色ある教育活動の一つです。上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生に憧れの思いを抱けるように学年間の素敵な交流は、今後も大切にしていきたいと思えます。</p>

教職員	<p>○学級担任を初め、他教員も子供たちのために一生懸命やってくれており、感謝している。</p> <p>○子供たちの相談に親身になって対応してくれている。</p> <p>○宿題や体調管理等で、子供の様子を丁寧に伝えてくれている。</p> <p>○子供の様子を連絡してくるのはよいが悪い内容ばかりだと不安になる。</p>	<p>→副担任制や教科担任制の実施により、学級担任だけでなく、より多くの教員が児童に関わるようになっていきます。多くの教員が目で見守り、児童が安心して学校生活を送ることができるようにしていきます。</p> <p>→児童のことで、気になることは常に家庭と情報を共有することが児童の安心・安全につながっていくと考え、引き続き御家庭との連携を重視して取り組んでいきます。</p> <p>→不安にさせてしまい、申し訳ありませんでした。児童のよい面や姿も併せてお伝えしていくようにしていきます。</p>
行事	<p>○運動会や音楽会は各学年のカラーを生かした内容でとてもよかった。</p> <p>○就学時健康診断への5年生の参加はとてもよかった。</p> <p>○学校行事を年間でもう少し分散してほしい。</p> <p>○保護者会の実施時期を月末だけでなく分散してほしい。</p>	<p>→児童の思いや願いを大事にし、児童に付けさせるべき力を考えながら、それぞれの学年の良さを生かした内容となるように今後もしていきます。</p> <p>→園児、児童双方にいい機会となりました。今後も継続していきます。</p> <p>→次年度は運動会を2学期に、展示会を3学期に実施し、大きな行事が短期間で続かないようにしていきます。</p> <p>→他の学校行事等を考慮し、日程を設定していきます。</p>
その他	<p>○保護者会にて写真等を交えた資料を用いて学校の様子を分かりやすく伝えてくれた。</p> <p>○毎日帰宅すると、友達や教員の話がたくさんしており、楽しく通うことができている。</p> <p>○学校便りと学年便りを一つにしたことで他学年のことも知ることができるようになりよかった。</p> <p>○学校便り等をテトル配信にしてペーパーレス化を図ってほしい。</p> <p>○トイレが汚いと子供が言っている。清掃の回数を増やしてほしい。</p> <p>○PTAの在り方(参加や役員の選出方法、会合の開催時間等)を再考してほしい。</p> <p>○学校評価アンケートを記名式にしまうと個人が特定されてしまい、正直に書けない。</p>	<p>→貴重なお時間を割いて保護者会に参加してくださることを念頭に置き、今後もそれに見合う内容になるよう努めていきます。</p> <p>→児童にとって学校が楽しい場であることが一番であると考えます。児童が友達や教員との関わり合いを楽しめるような環境づくりに今後も努めていきます。</p> <p>→一体化により、学校全体の動きと各学年の動きを分かりやすく伝えることができるようになりました。今後も継続いたします。</p> <p>→内容に応じて紙面配付とテトル配信とを吟味して適切な方法でお伝えしていきます。</p> <p>→週1回程度で業者による清掃を行っています。清掃状況等を丁寧に見ていきます。</p> <p>→PTA本部と連携しながら、これからのPTAの在り方を考えていきます。</p> <p>→いただいた御意見には誠実に対応してまいります。今後も記名式に御協力いただきますようお願いいたします。</p>

